

平成30年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

平成 30年 10月 19日

岡山市長様

応募者代表 団体名 西川エリアまち育て協議体
氏名 池田一晃

平成30年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	西川エリアの魅力向上のためのまち育て協議体の設立～自然口ケーションと地域資源を融合した仕組みづくり～		
取組の概要	<p>西川エリアまち育て協議体は、本町・錦町・幸町・平和町・磨屋町・田町の6町内を西川エリアと称し、暮らす人、働く人、訪れる人が共存出来る街を目指し活動しています。</p> <p>地域資源である630以上の飲食店と連携し、「豊かな緑道のある岡山一の飲食店街」を県内外にアピール。食材・食文化など「美味しい岡山」の発信源としての役割を担い集客に繋げることが飲食店に自信（やりがい）と誇り（社会的貢献）を取り戻すことに繋がる。魅力を掘り起こすニーズ調査や情報発信、セミナーなど勉強会を重ね、飲食業者と共に安全で安心なエリアを確立する事で、自ら地域課題を解決し、経済成長する街でありながらも、住み続けられる街を形成していきます。</p>		
協働団体	<ul style="list-style-type: none">・岡山市庭園都市推進課・岡山飲食業協同組合		
取組の実施期間	始期：平成30年5月～	<input type="checkbox"/> 平成31年2月終了	<input type="checkbox"/> 繼続予定
		<input type="checkbox"/> 平成 年 月頃終了予定	※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。

●次の書類等を添付してください。

- ①【様式1】協働による社会課題解決の取組の内容
- ②【様式2】取組実施団体概要書
- ③写真等取組イメージ画像の電子データ（1枚）
インターネット投票を行う際にエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。
- ④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（A4またはA3）1枚
シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）
- ⑤その他取組の説明資料：A4で2ページ以内で添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	西川エリアの魅力向上のためのまち育て協議体の設立～自然ロケーションと地域資源を融合した仕組みづくり～
平成30年度 募集テーマ	やりがいと豊かな暮らし SDGs目標8：働きがいも経済成長も SDGs目標11：住み続けられるまちづくりを
テーマとの関連	<p>◎ テーマと合致する貴団体の取組についてお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none">・西川エリアの夜間交通量調査・ニーズアンケート調査・フリーぺーぺー発行・事業者向けセミナー開催・街育てワークショップ・西川エリア観光マップ作製
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについてお書きください。</p> <p>◎目的 飲食店と住人が共存出来る、安心安全な岡山一の飲食店街を創る。</p> <p>◎課題</p> <ul style="list-style-type: none">・飲食店（ガールズバー）の客引き行為・眩しいLED看板による光害・店外設置のスピーカーによる夜間の騒音・路上での販売行為 <p>風紀の乱れ、光害、騒音など街の解決すべき問題が発生している。</p> <ul style="list-style-type: none">・630を超える飲食店が軒を連ねるエリアにも関わらず、飲食店街としての街の名称が無い。・西川エリアの役割がはっきりとしていない。そのため観光客誘致に「食」は大切な要素であるが、岡山の「食」を最もアピール出来るこのエリアに観光客を誘致出来ていない。 <p>◎目標 飲食店と共に西川緑道公園の緑を活かした安心安全な飲食店街を目指して、街を育てていく。街の当事者である飲食店自らが街のルールを作り、守る。それを継続する事により西川エリアの街の課題を解決し、事業者にとって商売がしやすい、地域住民にとって住みやすい、観光客にとっては訪れやすい街を創り出す。</p>

取組の内容	<p>◎ 取組の内容について具体的にお書きください。</p> <p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など</p> <p>対象地域 西川エリア（本町・錦町・幸町・平和町・磨屋町・田町） 対象者 西川エリア内の事業者・住民・観光客</p> <p>2 活動内容、実施方法など（活動ごとに箇条書きで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の通行量調査 2回（週末1回・平日1回） ・アンケートによるニーズ調査（通年 500人） ・フリーペーパー「ふらっと西川」（年3回発行） ・事業者向けセミナー開催（年2回） ・事業者・住人に向けたまち育てワークショップ開催 <p>◎ 取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。</p> <p>http://nishigawa.space/</p>

協働団体と その役割	団体名	この取組で果たしている役割
	岡山市庭園都市推進課	西川エリア関係団体と連携支援
	岡山飲食業組合	飲食店への情報提供と街づくり活動への賛同
取組の工夫 取組の特徴	◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点をお書きください。	
	<p>協議体メンバーを、西川エリアで開催しているイベント代表者や学区の代表者・地域住民・地域事業者など西川エリアの当事者で構成。</p> <p>西川エリアの圧倒的当事者として先頭に立ってエリア内の飲食店・事業者・宿泊施設との協力体制づくりや地域資源活用ルール創りを行っていく中で、地域全体に街をよりよくしていこうという気運を芽吹かせていく。</p>	
	<p>◎取組の特徴やアピールポイントをお書きください。</p> <p>訪れた人に、暮らす人に、働く人に、私たち西川エリア協議体がコミュニケーション・プラットフォームとなり、点と点を繋げて新たなネットワークを創ります。そして、全ての街の当事者が共存出来る街を目指します。</p> <p>飲食業者の方へ！</p> <p>飲食店同士の連携を図り「岡山一の飲食エリア」になる為に出来る事を考えていきます。</p> <p>暮らす人に！</p> <p>地域価値を高めながら安全で安心して暮らせる街になる為に出来る事を考えていきます。</p> <p>訪れる人に！</p> <p>岡山で過ごす時間や体験がHappy体験に繋がる為に出来る事を考えていきます。</p>	

成果・効果	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成30年8月1日にフリーぺーパー「ぶらっと西川」を発行。 初版1000部は市内の観光施設・ホテル・飲食店に配布、好評につき9月に1500部増刷。県立図書館より毎号アーカイブにしたいと依頼があった。また美術館（オリエント、夢二）などからも設置したいとのご連絡をいただいた。 ●インバウンドセミナーを平成30年8月29日に開催 約50社の飲食業者が参加。外国人誘致に興味を持った。地域全体で誘致する意識がでたなど、前向きな意見を多く聞くことが出来た。今後は外国語のメニュー・グルメマップの制作を予定。 ●平成30年6月に夜間の通行量調査を実施。 今まで実施していなかった夜間の通行量を調査することで、西川エリアの夜の通行量の多さを数値化出来た。
今後の活動展開など	<p>◎今後の成果の普及や活動展開などについて書きください</p> <p>私たちは植物を育てる様に街を育てていこうと考えています。</p> <p>種=街 ↓ 芽=住人・事業者の街をよりよくしていこうという気運 ↓ 育てる=住人・事業者と西川エリアまち育て協議会 ↓ 花・実=街の活性化</p> <p>まずは交通量調査やニーズ調査で「種=街」の特性を調べ、フリーぺーパーやセミナー・ワークショップで「芽=街をよりよくしていこうという気運」を芽生えさせる事から始めています。</p> <p>今後は住人・事業者とこの「種=街」がどんな花や実をつけるのかを創造し、一緒に育てていく。そしてこの「種=街」が花や実を付けた時、住民も事業者もこの街に自信と誇りを持って住みそして事業を運営してくれる様になればと思っています。</p>

Why Do Japanese Restaurants & Bars...?

~つきだしの巻~

Don't be surprised. All customers get an appetizer after seating (similar to a seating charge). It's called "tsukidashi" or "otoshi". And usually costs 200 to 500 yen. Please try it. If you don't like it, you don't have to eat it.

當かないでください。お客様が選択する前まで出されます(座料金に似ています)。それは「つきだし」または「お通し」と呼ばれています。通常200~500円かかります。試してみてください。あなたがそれを気に入らなければ、食べる必要はありません。

うちの夫はカナ大人。日本に暮らすようになって10年を超えるが、お店に行くといまだに「なんで?」と思うことがあるらしい。日本では当たり前すぎる「つきだし・お通し」。外国人の彼には納得できないもののひとつ。これがサービスなら「ありがとう」となるところ、お会計で同じく「ありがたい」ものがプラスされていることを知るというびっくり、、そしてかっこいい感、チップの習慣に慣れた欧米人にとっては「サービスは受けた側が感謝の気持ちを示すもの」であって、店側が勝手にサービス請求するというのは、なんとなく「しつこい」なのよな。さらには、安全性のために現金を必要以上に持ち歩かない感覚が身についた彼ら。たとえ数百円といえど「足りない」になりかねない。

岡山の「食」は観光資源にしなくていいのか?

昨年、仕事で8日ほど鹿児島市に滞在した。その間に食べた郷土料理やお酒が美味しいのなんの黒豚のなんかつ・地鶏のたたき・薩摩揚げ・はらんぼ(鰹の腹)塩焼・キビナゴの刺身、そして芋焼酎。飲み歩きだけを目的に訪れててもいいと思うほど、観光客誘惑は食は大切だと痛感した。これは鹿児島に限らない。**地方独自の食材や郷土料理に出会い、味はもちろん価値が良心的だと旅のさらに楽しむ。**

美味しい店が多いと思われている東京や大阪などの大都市では、意外にガリガリな店が多い。5千円程度では味はそこそこ、席は貧相で狭い。家賃や人件費を考えれば仕方なしとはいえない、満足できるものにありつつために500円は覚悟は…。有名店では行列は当たり前。仮に予約できても3ヶ月待ちとはめで息が出る。金銭的にも時間的にも大変だ。そんな都市圏から「食」を目的とした観光客を呼び込むというのは地方にとってはチャンスかもしれない。

岡山もうまい食の宝庫。地元産食材を使った逸品を提供する飲食店も多く、これこそ最高の観光資源ではないだろうか。**西川エリアには630を超える飲食店が軒を連ねる。**その数、立地を考えても岡山観光に活かさない手はないと思うのだ。

香川県に行って驚いた。うどん屋は関西や関東のナンバープレートの車でいっぱいなのです。300円程のうどんを遠路わざわざ食べに来ているのです! これぞ、香川県が自ら「うどん県」とまで名乗り、食を通じてPRした結果である。

さて、岡山はいかに? **美味しいもん食べたいなら西川エリアへいらっしゃい!**

(© 池田促成青果ラボ 代表 池田一晃)

岡山メ飯
YOKOHAMA



●岡山のうどん屋は店じまいが早い。そんな中遅くまで営業してくれる貴重なうどん屋が7月、岡山駅前商店街にオープンした。太く筋肉質な男らしい讃岐うどんが特徴。お勧めは牛丼・ごぼう天・ちくわ天・温泉玉子が入ったボリュームたっぷりの「男の肉ぶっかけ」(880円)。どのうどんも同じ価格で並(玉)、中(1.5玉)、大(2玉)が選べる男前なサービスもあるので、飲んだ後のお腹具合に合わせて食べられるのもいい。

●もう一つ、岡山のウルフード デミカツ丼(780円)も提供している。西川エリアと岡山駅の間という好不容易で23時まで営業も嬉しい。

ところが「**お酒や食事が楽しめる場所はどこ?**」と問われて、「ここ」と言えないのが岡山。これもこの地域の課題のひとつ。西川緑道公園周辺に大変魅力的な飲食街があつても、ここは名前がなかったんですね(泣)。どの地方都市でも地域を代表する飲食街の名前があるのですが…。

だから名前をつけました!

『岡山の代表する飲食店街“西川”』
どうぞよろしくお願いします(^^)

We have named this area!
The name of the restaurant district representative of Okayama is called the NISHIGAWA.
Nice to meet you!



秋の幻想庭園&鳥城灯籠祭
【期間】11月16日(金)~25日(日)
【時間】ライトアップは18:00~21:30
【場所】岡山後楽園&岡山城天守閣
日本三大名園と鳥城(岡山城)の夜的魅力を一緒に味わえる。能舞台でのコンサートや茶会、和菓子カフェなど開催予定。



備前岡山京橋朝市
【時間】10月7日(金)~11月4日
【時間】ライトアップは毎日18:00~21:30
【場所】岡山後楽園&岡山城天守閣
日本三大名園と鳥城(岡山城)の夜的魅力を一緒に味わえる。能舞台でのコンサートや茶会、和菓子カフェなど開催予定。

おでかけしましょ
西川エリア内や周辺では
こんなイベントをしているよ!



ビーズつなぐ かざる みせる
Beads in the World
【日時】9月22日(土)~11月25日(日)
9:00~17:00 / 毎週月曜休館
【場所】京橋西詰め横川川敷広場
街でを迎えた人も、早起きした人も、散歩がてら活気の溢れる岡山の朝市を楽しもう!10月は全国有名な朝市が集結!



西川って地名???

さて。“西川”といえば岡山市の人にとっては「あ、あの辺りだな」とほんやりイメージしていただけると思いますが、市外の方や観光いらっしゃる人は地図を広げて「どこ?」となるかもしれません。

“西川”は“地名”ではないんです。言うなれば地元呼名。岡山駅から徒歩圏内に全長2.5kmの“西川緑道公園”があります。約100種類の樹木約3万8千本が植えられた“緑の回廊”は市民に親しまれ、この辺を“西川”と呼んでいます。この沿道に広がるエリアには多くの飲食店があり、中でも本町・錦町・幸町・平和町・磨屋町・田町の6町には630を超える飲食店が軒を連ね、緑道と一緒に歩行者天国や満月BARなどのイベントも数多く開催されています。

ともと西川周辺は猿猴連の間屋街でした。1968年、現在の北区問屋町に御センターが開設されると、街中の問屋はどんどん移転し、岡山市中心街地はドーナツ現象化が進んで空家が増えました。そこに出現したのが飲食店。この40年余りで街は問屋町から飲食街へと変貌したのです。現在は飲食店の他にマンションやホテルも次々と建ち、まだまだ変化を止めはいません。

ところが「**お酒や食事が楽しめる場所はどこ?**」と問われて、「ここ」と言えないのが岡山。これもこの地域の課題のひとつ。西川緑道公園周辺に大変魅力的な飲食街があつても、ここは名前がなかったんですね(泣)。どの地方都市でも地域を代表する飲食街の名前があるのですが…。

だから名前をつけました!

『岡山の代表する飲食店街“西川”』
どうぞよろしくお願いします(^^)

We have named this area!
The name of the restaurant district representative of Okayama is called the NISHIGAWA.
Nice to meet you!

発行日 初版 2018年8月1日 / 改訂版 2018年9月1日 発行・企画・制作 | 西川エリアまち育て協議体 [平成30年度 岡山市民協働推進モデル事業]
プロデュース | 池田一晃 編集 | しむらよしこ デザイン&デザイン | 株式会社リール 美術 | 太田 裕之 写真提供 | 山下リール データ提供 | 岡山市、株式会社ぐるび 執筆 | 西川エリアまち育て協議体
問い合わせ先 | 西川エリアまち育て協議体 TEL 090-0901 岡山市北区本町9-13 池田促成青果ラボ内 MAIL | inq@nishigawa.space HP | http://nishigawa.space/

01
SUMMER
A REVISED EDITION

西川エリアを楽しむ・味わうフリーぺーパー



はじめまして

西川エリアまち育て協議体です



私たち「**布拉し**」チームは圧倒的当事者として街に飛び出していきます。西川エリア内の飲食店・事業者・宿泊施設との協力体制づくりや地域資源活用ルールの検討などを実行しています。訪れた人に、暮らす人に、働く人に、地域の未来に、笑顔がたくさん増えるように、私達がコミュニケーション・プラットフォームとなり、点を繋げて新たなネットワークを創ります。



1. 主力産業の飲食業の人に

西川エリアには630店を超える飲食店があります。岡山の豊かな食材を活かしたおいしい食文化と個性溢れる各店の魅力を自信をもって世界に発信。働く人、暮す人、訪れる人に寄り添い、料理やサービスを通して笑顔を産み出し、食と自然を身近に感じる独創的な西川エリアの暮らしを共創します。**地域価値**を高めながら安心して暮らせる街になる方に、出来るコトを私たちは考え抜いていきます。

2. 暮らす人たちに

西川エリアには南北に西川緑道公園があり、豊かな緑と水のロケーションが人気の住宅エリアです。隣接する飲食店との共存共栄を推進することで、日常と非日常のヨルブランを楽しむことができます。食とアート、食と文化、食と自然、食とイベント等、岡山で過ごす時間や体験がHappy体感に繋がる方に出来るコトを私たちは考え抜いていきます。

3. 訪れる人たちに

西川エリアには南北に文化芸術施設や岡山後楽園・岡山城といった観光資源が揃っています。ビジネスや観光で岡山市内を訪れる多くの方が西川エリア内、もしくは周辺の宿泊施設を利用されます。食とアート、食と文化、食と自然、食とイベント等、岡山で過ごす時間や体験がHappy体感に繋がる方に出来るコトを私たちは考え抜いていきます。



ぶらっと西川

築300年のライヴハウスがあるって???

《 薩涼寺ーいんりょうじ 》

西川エリアには屋外の音楽イベント、生演奏の聴けるお店がたくさんあり、**音楽は西川エリアの魅力を引き出す大切な要素**のひとつと思う。今回紹介する中央町の薩涼寺は西川緑道公園を南に下った旧2号線手前東沿いに位置する古いお寺。代目住職の藤原真祐(しのはらしんゆう)さんは1999年からお寺をライヴ演奏や演劇会場として開放している。

しかしながら?その問い合わせに大きさは2つ教えて頂いた。

ひとつ、元々芸術行事の中でもまれて来たものの中に音楽・アートはあり、人々の苦しみを歌ひへ換え潤いを与えるものとして始まった。やがて表現方法がたくさん生まれ自己表現に特化することにより原点からかけ離れて行った。**薩涼寺ライヴはお寺を本来の立ち位置に戻しただけだ**とその根っこ部分をお話し頂いた。チケットで遭遇した祭りのお話、日本の米と並んでお話を聞き、重労働の苦しみを和らげる唄、音楽は宗教と生活中で、元々深い関係にあった事を教えて頂いた。

ふたつめは、「音楽する場のひとつとしての寺」である。音楽を聴ける場所と言えば普通ホールやライヴハウスになるが、そこでは表現しきれない音楽のジャンルもあるし、同じ音楽ジャンルでも**お寺でしか出せない音**があるといふ事なんだと思う。

なにゆえ唄うか?自分自身、原点回帰ハッピーアクセスてくれた古くて新しい音楽の場、薩涼寺でのイベントがこれからも楽しみだ。

(c) ブルックギング・ヘッドロッカーズ ギター兼任ボーカル 田辺滋)

坐禅会・絆経会の体験可能。
薩涼寺イベントスケジュールは
facebookで配信中!

【基本情報】
薩涼寺
〒700-0836 岡山市中央町10-28
TEL:086-223-5853

グランドアリバ(YAMAHA G3Eのアクション部分をタッチパネル式のクラスアーリアに載せ替え)やPA機器、照明などの設備も整えてあり、国内外のミュージシャンが年間を通してライブを行っている。



Jazzyな西川散歩

中銀前ジャズナイトやジャズ・アンダーザ・スカイなど、岡山市中心部各所がJazzの音で溢れる時期が今年も来る。「岡山とjazz」の組み合わせは意外と思われるかも知れないが、実はライヴハウスにジャズ喫茶やバーなどが多い。ジャズイン西川は、年間を通してjazzやPOPSを楽しめる、その名も「ジャズ・イン・西川マンリーライブ」を企画開催。西川緑道公園野鳥殻ステージで懐かしのジャズ、ボップスの生演奏を行なう野外イベントだ。大学ジャズ研からプロまで参加出演者も多様で表現の場としての役割も果たしている。

2018年夏は初めて「ジャズイン西川サマーナイトライブ(※)」を開催。西川エリアは黄昏時からぼくつづけ飲食店の明かりが灯る。夕闇に包まれるまでのセクシーなひとときを粹的な生演奏とアペリティフなんかがだらうか。

最後に夏~秋にかけてのjazzイベントもチェックしておきたい。

※「ジャズイン西川サマーナイトライブ」は、8/10、8/24に終了しました

【おかやま国際音楽祭】

◆かわうさんまえジャズナイト 2018

【日時】2018年9月29日(土)18:30~

【場所】中国銀行本店前広場

【出演】秋山純子カルテット
飯田さつき with Friends

◆ジャズ・アンダーザ・スカイ 2018

【日時】2018年10月6日(土)17:00~

【場所】下石井公園 特設ステージ

【出演】Shiro & Gast Waltzing with Kyoto Composers Jazz Orchestra-Special guest 武田真治/TOKU & SHANTI Special band

今年のコンセプトは「岡山人(おかやまひと)による、swingしなきゃ!」。下石井3DAYS始まって以来となる、ビッグバンド・ジャズがやってくる!

そして10月7日 Music Live Square、10月8日 Premium Music Nightと音楽の祭典は続く。西川エリア内の下石井公園で音のシャワーを浴びる3日間!!すべて無料。

西川に「イメージがない…」 だった林ですが。

私は倉敷市児島出身、大学から大阪生活。岡山には益と正月ぐらいしか戻っていないかった時間です。それが仕事の関係で2015年に岡山に戻ることとなっつ3年。今、こうして「西川エリアまち育て協議会」のメンバーになり、西川といどり飲食店が数多く立ち並ぶお洒落な通り、休みの日にはホコテンやイベントが頻繁に行われる懐やかなエリア…などと当たり前のようになりましたが、あの頃の自分でももう一度西川のイメージを聞いてみたらどうだろうか?なんてふと考えたのです。そして「特にイメージがない」という答えを口にしてしまいました。これは岡山を知らないみんなの声なんじゃなかろうかと。

約3年間、岡山に暮らし、西川を身近に見てわかったことがあります。それは、西川エリアにはプライドを持って働く飲食店、八百屋、行政、パフォーマーが数多く存在すること。そして、西川に何のイメージも持っていない私は彼らとの出会いから西川エリアの魅力を知るに至ったわけです。こうして**地域に根ざす人々がちゃんと地域の魅力を伝え続ける意義を知ったのです**。西川とは縁のなかった者がすっかりこのまちに

魅了されました。

私はどこにだって必ず魅力ある場所・イベント・飲食というのはあるのです。では、その認知度に違いが出るのはなぜか?というと、実はとても簡単なことで、前述のような人々の存在のあるなしかだと私は思うのです。そんな声を束ねるために組織が必要とすれば、以前なら「行政が頑張って街のPRをやればいいんじゃないのか?」と安易に考えたかもしれません。しかし、よくよく考えれば行政は幅広く、かつ平等な目標で各エリヤや街を統括するところ。特定のエリアだけに注力するのはフェアではありません。自分たちのエリアの魅力の発信源となる**当事者意識の高い独自の組織**が必要なんじゃないか?そんなことを考えた人たちが集まり、知恵を出し合い、**西川エリアに立ち上がったのが「西川エリアまち育て協議会**です。

西川というエリアには数々の魅力があふれています。おそらく私自身も気付いていない魅力も多々あるでしょう。協議会が発足した今、これから西川というエリアがどのように変化・進化していくかを主観的、また客観的に楽しみたい!と思っているところで、「プラン」が区別するための要素なら、**西川といどりエリアには「プラン」はすでにあります!**そんな「西川ブランド力」を押し上げ、より多くの人に知ってもらうために**「まち育て」の活動が始めます**(いえ、すでにスタートしています)。今後の西川エリアを西川に聞かわるのみんなで応援していませんか? (林辰郎)

うまい日本酒飲んで もらおうじゃないの

若輩者がナマ言います。
日本酒はブームじゃない、文化だ!

獺祭ブームがありましたね。一時期はどこのお店も獺祭、獺祭。すると「獺祭まずい」という方が増えてきました。それはなぜか?理由は簡単。お店で「お酒の管理ができない」とから。私たまに飲みますが、獺祭は良いお酒ですよ。キッパリ言います。「絶対にまではない」です。

日本酒は生き物ですから、冷蔵庫に入れても日々味は変化します。試しに抜栓したときと3日後と1週間後を比べてみてください。獺祭はその変化が平均よりも著しいお酒なんですね。日本酒は管理によっては3日でダメになるのもあるというのに、お客様の評価は「飲んだそのまま」で決まる。ブームの影では管理がずさんな店も増えます。ショーケースで長期間放置すると味がボケてしまうものがあることも知らん(涙)。もちろん常温放置でも耐えられるお酒もありますし、熟成もあります。そういうものは燻づけなどで楽しめばいいですが、その知識がなければ意味なしじゃが!お刺身をして1時間くらい手をつけなから「早く食べてれえ」。ラーメンを「麺かため」と注文しておきながらしばらく食べにならなかったり。しかも!! それお店の評価をSNSで拡散されたら、たまたまもしやあねーね。日本酒もしかし。

私がお店開店当初から言ってますか、あらためて言わせていただきます。

日本酒はブームではなく文化。日本酒離れに歯止めをかけるためにも、我々がまず品質を守らにゃあ。ひとつ提案するならば、知らない日本酒「20種類」から、店主が吟味する「5種類」のように変えてはどうですか、ごっちの方のお客様は満足です?

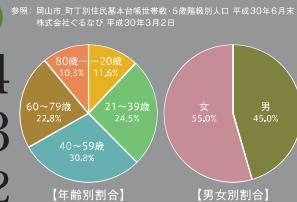
……はっ。若輩者がナマ言うてますね。すっ、すんません。

語ったしましたが、実は私の日本酒との出会いは最近。あれは大学野球部での新規カンバ。目の前には熾烈競争が並べられ、流れりの合いの手の中、何本も何本も。当時の常だといえば、そんな経験をして日本酒が好きになれるはずもなく。いかんですね。日本文化のために若者にうまい日本酒を勧められる**大人にならうじゃないですか**。(c)和Bar Iwatsuki 店主)

数字で知る西川エリア

参照:岡山市町別住民基本台帳等・5歳階級別人口 平成30年6月末
株式会社ぐるなび 平成30年3月2日

世帯数
1304
人口
2123
飲食店舗数
632



皆様のリアルな声を聞かせて~ニーズ調査実施中!

西川エリアまち育て協議会は、西川エリア内の事業者との協力体制づくりや地域資源活用リールの検討などを実行しています。普段からお来訪される皆様のこんな方に困っている、こんなアイデアがある、ここが好きだよ~などのご意見を集めています!個人情報の入力はございません。

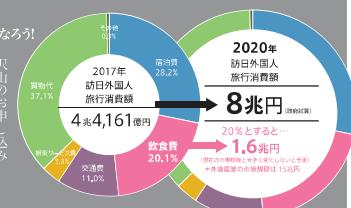


外国人客対応セミナー開催するよ!

飲食店様・小売店様・企業様へ
次号にて受講レポート掲載!

また行きたくなる!
岡山一の飲食エリアになろう!

8/29
14:00-15:30
in 西川アーバン
多目的ホール
ありがとうございました。



英語・中国語を話せなくても大丈夫!

2017年岡山市に宿泊した訪日外国人は約42万人。2019年4月には瀬戸内国際芸術祭、9月には岡山芸術文化交流も始まり。岡山中心部にはさらなる外国人接待客の増加が予想され、2020年には東京オリンピックもあり、政府試算では外食産業の約16(6兆円)がインバウンドで構成されるかとさ、このチャンスを「言葉の不安」だけで逃していいですか? 外国語が話せなくても、売上UPのために、今すぐできることはあります!!

ようこそ満月BARへ

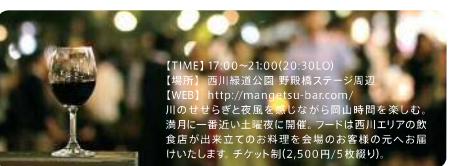
そう言い続けて7年目。この立上げからずっと変わらないコンセプトのひとつに「おしゃれ」があることご存知でした? これは、気軽におしゃれを楽しんで街に出かけて欲しいという想いと、キャスト(運営スタッフ)も背伸びをして非日常感を楽しんじゃう!という、双方に向けたメッセージ。私にとってはこれまで満月BARの楽しさのひとつで、お客様やキャストとのドレスコードに季節を感じ、人の賑わいを色のバリエーションとともに察知しています。

4月には花柄でキュートに、6月には涼やかな浴衣で。私自身もドレスアップすることでスイッチが切り替わり、日常から満月BARモードへ!これ、地元より緊張感と高揚感が生まれる瞬間なんです。この気持ちは女性に限りません。男性キャストも同じく、白シャツに黒パンツ、ネクタイ、ペスト、革靴。それから髪を固めてセッティングすることで、きりっとした気持ちに切り替わるというんです。確かにね。満月BAR開催中の彼らは立ち振舞の舞いもスマートでカッコいい。ただし、これは普段から一連の活動しているからこそギャップなのかもしません(笑)。

今年の満月BARも残すところあと2回。毎回何を着よう?と迷うこともまた楽し。いつもより意識アップ!! おしゃれをしてご来場いただけたら本当に嬉しいです。

(c)満月BAR実行委員 代表 大森美彩

SCHEDULE 2018
9/ SAT 22 10/ SAT 27



ワインとは何だっ?!

自然派ワインの専門店
「プレブラン&ナチュラルモン」

自然派ワインの専門店として、西川緑道公園沿いにお店を出して10年。**有機栽培・無農薬ぶどう**を使用したワインの専門店を出すのであれば、岡山市内で一番ふさわしいのが、川と緑の自然がある西川エリアだと思い、西川緑道公園沿い(岡山市北区本町8-1)に移転しました。

さて、私たちがここまで来て意外だったのが、お客様からのこんな声でした。「ワインを飲むと頭痛がする」「ワインは二日酔いになる」「ワインを飲むと気分が悪くなる」…ワインを味わいたいけど、楽しめない人がこんなにもいるのかと思いました。

一方で、私たちが提供するワインを試された人からは、「ここのワインなら飲めただ」というようなお声をたくさん頂くようになりました。何が原因なんだろうと思うようになったのです。

ある医療関係者の方がおっしゃるには、「ワインには、酸化防止剤等が含まれているけど、それを分解処理するには肝臓。そして、アルコールの分解をするのも肝臓。肝臓が両方処理をしないといけないので、処理しきれなかったアルコールが頭痛の原因になるのです」とのこと。

10年間、私たちは自然派ワインを飲み続けてきて、今では自然派ワインの中でも添加物の多いものと少ないものが体で感じるまでになりました。添加物が体への負担にならざることを休息し、添加物の少ないものを揃えるように。今は私たちのワインizerの中は、個性的なワインが多くなっています。酸化防止剤無添加のワイン、白ぶどうの皮も仕込んだオレンジ色をしたオレンジワイン。過度に甘い濃い酒ではない渋いワイン、発酵を完全に止めてなく、栓を開けると1/3程吹きこぼれるワイン。

もし、ワインを飲むとちょっと…という方がいましたらぜひ、私たちの扱うワインをお試しいただきたいです。ワインショップに飲食店も併設していて、**緑道を借景に、軽くみんなながら飲めます**。ぶらっとお寄りくださいね。

(c)プレブラン店主 山本和志)